

令和8年度 第1回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和8年5月28日(木) 10時より

○場 所 小金小学校 コミュールーム

○参加者

松戸市教育委員会より

教育長 波田 寿一 様

教育政策推進課長 弓木田 誠 様

教育政策推進課指導主事 河村 将 様

学校運営協議会委員 出席者(敬称略)

安達 里季 上野 久 塩澤 凉子 鈴木 悦朗 安井 裕道

山口 真由美 海老澤 亜矢 丸山 達也 中嶋 雅行

三輪 祐子 岩田 智恵 西山 幸子 松尾 利之 吉野 大介

(14名)

学校運営協議会委員 欠席者(敬称略)

大谷 茂範 (1名)

○次第

1 任命書交付式 10:00～

(1) 任命書交付

(2) 教育長あいさつ

(3) 委員自己紹介

2 小金小学校学校運営協議会 10:45～

(1) コミュニティ・スクールについて

教育政策推進課指導主事 河村 将 様よりコミュニティ・スクールについての説明を行った。

(2) 会長、副会長の選出について

会長：丸山 達也 様 副会長：山口 真由美 様を選出

(3) 令和8年度の学校運営基本方針について

校長より小金小学校ランドデザイン2026を用いて、令和8年度小金小学校学校運営基本方針の説明を行った。

(4) 意見交換

〈日本語を母国語としない外国籍児童の対応について〉

- ◇学校の日本語指導の現状と課題について説明。近隣の幼稚園でも子供、家庭を含めた支援体制について課題として挙がっている。
- ◇教師と子供のみでの対応だけでなく、子供たちと一緒によい意味で周りを巻き込みながら言語習得環境を整えるという方策もある。
- ◇外国籍児童の母国を知る学習を ICT を活用して行うことで好転した事例もある。

〈不登校児童への対応について〉

- ◇不登校児童への支援方法として、学校から家庭の中に深く入ることは今の時代できないことが多い。家庭の教育力自体を高めていくための議論をしていかなければいけない。
- ◇不登校児童への学びの保障の部分でもとても心配している。家庭が地域とつながることができる場所や手段を紹介することも必要では。コミュニティスクールでそうしたことについても議論できる。
- ◇不登校への対応として、子ども食堂やフリースペースの場所を活用している事例もある。

〈学校が抱える課題の解決に向けて〉

- ◇子供たちが人や社会とつながる場所が、学校でなくともよいが、どこかでつながっている環境は必要。
- ◇例えば子供同士の外国語ボランティアや、不登校の友達に声をかける子供など、子供たち同士のつながりも大切にしたい。
- ◇子供たち同士の関わりを見守る大人であったり、場所であったりも必要となってくるのでは。その部分で、地域で、コミュニティスクールで何ができるかを具体低に議論していくとよいのでは。
- ◇丁度昨年度の課題として挙がっている家庭の教育力向上にもつながる問題提起となっている。次回以降、議論を深めていきたい。

(5) その他

- ・教頭より年間予定について説明を行った。
- ・次回の開催予定 令和8年7月7日(火) 9:35より

